

群馬県 グループホーム高山の家(カペラ) 地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|--|---|----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> | <p>地域の方々との交流を取り入れて、御家族に成り代わり職員一同でやすらぎと温もり溢れるホームで安心して暮らしているように心がけています。</p> | |
| 2 | <p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> | <p>毎日の申し送り後、理念を職員一同で唱和をし、共有化して仕事についています。</p> | |
| 3 | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> | <p>各階毎に見やすい場所に掲示しています。</p> | |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | <p>近所の方のご好意により、庭の花を見せていただきに出掛けたり、定期的に近所の方が、お花を持参して下さり、ホームにお花が絶えません。</p> | |
| 5 | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> | <p>村の文化祭や学校の運動会を見学に行き、地域の方々とのふれ合う機会を作っています。</p> | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 6 | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> | 福祉施設利用の相談や紹介を出来る範囲で行なっています。例えば空室が出たときはすぐに同村の居宅支援事業所へ情報を提供しています。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | 指摘された項目を、職員間で話し合い、すぐに改善出来ることから取り組んでいます。(前回・・・理念の内容、なじみの家具等、終末期について) | | |
| 8 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | 運営推進会議の議題を掲げ、ホームの現状を報告したり、委員の方々の意見を聞いたりして、ホーム向上の話し合いをしています。 | | |
| 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | 受付窓口への訪問や電話で、近況報告をしています。 | | |
| 10 | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | 現在1名の方が利用されています。ホームとして入居者と後見人との連絡係の支援を行っています。 | | |
| 11 | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | マニュアルを見やすい場所に設置したり、各自の行動に注意を払い、防止に努めています。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | |
| 12 | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時に出来る限りご家族や利用者の不安を取り除き、ホームで出来ることと、出来ないことを説明して契約を結んでいます。 | | |
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 管理者として利用者からの不満やご家族からの苦情に対して、速やかに出来ることから対処しています。 | | |
| 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 健康状態は、月2回の訪問受診、年1回の健康診断、異常時の外来受診で健康管理をしています。金銭管理は数名の方をしていますが、毎月預金通帳のコピーをお送りしています。 | | |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 外部者への苦情、申し立て方法を掲示板に掲示し、訪問の際には出来る限りお話を聞くように心掛けています。 | | |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月2回の会議があり、その際管理者として意見や提案を発表しています。 | | |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 勤務表も職員が担当を決めて作成し、勤務変更もお互いに話し合いをしながら、利用者に対してサービス低下にならないようにしています。 | | |
| 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 特別な理由がない限り、異動は最小限にしています。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている | 行政や民間の研修、月1回のグループ内研修を利用して管理者、職員が順番に研修を受けるようにしています。 | | |
| 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 群馬GH協議会、主催の勉強会や地域ごとの勉強会で交流を図り、技術アップに取り組んでいます。 | | |
| 21 | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 職員の懇親会を時々行ったり、新年会、忘年会、社員旅行、ボーリング大会などを行っています。 | | |
| 22 | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 管理者を通じて現状の職員のことを把握して、常に向上心を持って働いていける環境作りに努めています。 | | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 相談時、ご本人からの訴えはあまり無いので、御家族や身内の方から情報を収集してご本人が困っていることを把握した上で、ご本人と話をするようにしています。 | | |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 相談時に御家族の現況、不安などを聞き、当ホームで出来ること、協力していけることなどをお話して、出来る限り理解をしていただいで利用していただくよう努めています。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 当ホームの体制と、同グループの事業内容を説明し、希望により必要なサービスが受けられるようにしています。 | | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ご本人の希望を取り入れ、好きな物、趣味の物などを居室に飾っています。また、居室の配置やサロンでの席はご本人にとって過ごしやすい状態が提供出来るように工夫しています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者の気持ちに寄り添い、喜怒哀楽を一番身近で共に感じてもらっています。お互いが家族代わりに何でも話し合える関係を築いています。 | | |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 御家族の現状を理解した上で、利用者様の日々の出来事や、現状を訪問時に報告したり、電話での報告でご本人の今日を共有し、支えあうように心がけています。 | | |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 利用者様の希望と御家族の願いや希望を理解して、良い関係が築き上げられるように心がけていきます。 | | |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | オープン時より面会時間設定はなく、いつでも訪問できる環境にしています。 | | |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者同士で話をしたり、同じ趣味やレクリエーションが出来そうな方の席の配置にしたり、コミュニケーションが取りやすいテーブルには職員が関わって孤立化しないようにしています。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | ボランティア活動を定期的に依頼しています。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 認知症の方々の日々の生活の中で、何をして欲しいのか、何が必要かを把握して、ご本人が出来ない事を支援しています。 | | |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時に生活歴をお伺いして、以前のご本人の生活にすこしでも近い状態で暮らしていただけるように努めています。 | | |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する方等の現状を総合的に把握するように努めている | 毎日経過記録を記入し、日々の心身状態や身体状態を見守り、バイタルチェックは1日2回(午前・午後)測定し、記録管理をして職員全体で把握している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 御本人、御家族の要望を取り入れ、処遇会議、担当者会議を行い、必要な介護計画の作成に努めています。 | | |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3, 6ヶ月でモニタリングを行い、見直しをしています。身体状況の変化により、サービス担当者会議を開き、介護計画を作成し御家族に同意を得て、本人に必要な介護計画に変更しています。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|--|--|------|---|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個別記録簿に、日々の状態を記入し、申し送りノートを通じて、利用者の情報を共有しながら問題点等も話し合って介護の見直しに努めています。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | ショートステイを提供しています。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 隣接市町村のボランティアの演奏会、踊り慰問、看護学生の研修、又、消防署の協力を得て避難訓練をしています。 | | |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 現状は他のサービスは利用していない。 | ○ | 今後、利用者の希望があり、出来る事であれば対応して行きます。 |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | | ○ | 事業内容が異なる為、今までは協働することが無かったのですが、今後施設利用される方の為にも、定期的に情報交換をして行きたい。 |
| 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 月2回の訪問受診で健康管理を行い、年1回健康診断や異変時には、適切な医療が受けられる協力病院が有ります。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|---|------|--|
| 44 | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 認知症の進行状況を見守り、必要な治療を受けられるように日々の状況を主治医に報告しています。 | | |
| 45 | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | ホームに看護職員が配置されている。利用者の日々の健康や、病気の早期発見、早期対応を支援しています。 | | |
| 46 | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 連携している病院があり、病状の安定と改善が見られ次第、早期退院を病院関係者と情報交換しています。 | | |
| 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した利用者に対しては、前もって家族と話し合い、その情報を医師に報告し、医師も家族の気持を確認していただき、方針を職員全体が共有している。 | ○ | 前回の課題でもありましたが、ターミナルケアについて、職員間で話し合いをしましたが、現状での医療機関状況では難しいですが環境が改善されたときは、御家族の希望を叶えていきたい。 |
| 48 | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 利用者の状態を医師に報告し、指示を伺いながら、出来る事は最大限に行います。その際、チーム一貫としたサービスの提供をしています。 | | |
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 家族や本人に関わるケア関係者で十分な話し合いと情報交換を行ってダメージの軽減に努めています。 | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|----------------------------------|
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 日々、個人の尊厳を意識した、姿勢・態度・言葉遣いを心掛け、記録簿の取り扱いにも注意をして、保管場所は外部の方が入れない場所にあります。 | |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 事実とは異なる会話であっても、拒否する事無く、受容して聞くよう対応しています。 | |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者の方々の生活歴、特技、趣味などを考慮し、特性を活かしたサービスを個々に提供しています。 | |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | その人の生活歴や好みに合った服装や、おしゃれの援助をしています。訪問理容で本人の望みが叶うよう、お店をお願いしています。 | |
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 職員と共に、利用者が出来ることを一緒にしています。例えば、食事の後片付けなどを行っています。 | |
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | ご本人の好みのものを一緒に買物に行ってます。御家族の面会時に持参していただける様に連絡しています。その他、10時と15時のお茶の際、工夫したおやつを提供しています。 | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 56 | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 利用者の方の排泄パターンを確認し、一人一人に合ったトイレ誘導をしています。訴えがあればすぐにトイレ誘導するように心掛けています。 | | |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 無理矢理に入浴させる事無く、ご本人の体調や入浴希望を確認し、入浴をして頂いています。入浴時間もご本人に合わせて時間調整をして、できる限り希望が叶えられるようにしています。 | | |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 食事後、ゆっくり休息したい方は居室にて休まれています。夜間など眠れない方には会話対応し、安心して眠れるようにしています。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 雑巾を縫っていただいたり、食事の配下膳や食器拭き、テーブル拭きを手伝っていただいています。 | | |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご本人が使われる日用品など、職員と一緒に買物に行き、ご自分で選び、購入していただき、喜びやお金の大切さを感じていただいています。 | | |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 天気の良い日には、散歩を楽しまれたり、欲しいものが有る時は買物に出かけます。 | | |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 年間行事予定表を作り、季節感を肌を感じていただけるような外出で景色や花などを観賞し、他施設との合同行事は場所を交代で開催をしたり、その際は家族や他施設の利用者の交流を深め新しい話相手を見つける機会を作っています。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|--|------|--|
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご本人の希望を叶えられようとしています。 | ○ | 老人性難聴や筆無精で電話かけたり、手紙を書くことを殆どの方が希望されていませんが支援はしていきたいです。 |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 訪問の際は、自室だけでなく、落ち着いて会話ができる場所を提供して、時間の許す限り過ごしていただいています。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 事故の危険性が予想されるときは、サークルを使用して予防をしていますが、解消され次第中止しています。(家族の了解を得た上での対応です。) | | |
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関の出入り口の施錠は夜間のみで昼間は全く掛けていません。 | | |
| 67 | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | プライバシーを配慮して、必要以上に居室の入室はしていません。夜間帯は定期的な安否確認の為、入室をしますがNCの呼び出しの時は随時訪問して安全確認をしています。 | | |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | ご本人にとって必要な物と危険もなく使用出来るものは本人管理をお願いしていますが状態や環境が変化したときは施設保管、管理をさせていただいています。 | | |
| 69 | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 運動機能の維持の為に、ラジオ体操を毎日欠かさずおこなっています。食事中や食後も誤嚥のない様に見守り、徘徊者の所在確認を心がけ、台所から離れるときは消火と施錠は必ず確認をしています。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 70 | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 消防署の協力を得て、救急救命講習をお願いし、AEDの使い方などを勉強しています。 | | |
| 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人の協力を得られるよう働きかけている | 消防隊員の現地講習を依頼して避難訓練方法を隣接の看護学生と一緒に勉強して、いつでも協力出来る体勢に努めています。 | | |
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | 利用者の状態によっては、起こり得るリスクを家族と話し合っておく、又は、そのときの状態を随時報告し、利用者の負担にならない様な対策を職員全体で心掛けています。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 午前・午後でバイタル測定し、記録簿に記入管理をしています。記録簿には利用者の健康状態が記入しやすく、見やすい場所に置き、情報を共有して、体調変化の早期発見を心掛けています。 | | |
| 74 | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の説明書をファイルに整理して、職員がいつでも見られるようにして個々の利用者の薬の目的、副作用、用法、用量について各自が理解し、服用による変化があれば医師へ報告しています。 | | |
| 75 | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 食事メニューは繊維が多く含まれた食材を取り入れたり、水分の多く含まれた果物、ゼリーもメニューに取り入れ、食事間には軽いウォーキングをして腸の運動に役立てています。 | | |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後、義歯の洗浄、歯磨き、うがいなどの声かけ、見守りをして介助の必要のない方は洗面所まで誘導し、本人の出来ない所は介助して、清潔を保ち、夜間帯は洗浄液に入れて衛生管理を保っています。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|---|--|------|---|
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事は毎食サービス月課表に記入し、摂取量が少ない方は果物や補助栄養食品を提供しています。水分については、毎食汁物とお茶を提供し、10時と3時のお茶とご本人の訴えや様子観察をしてその都度、水分を取っていただいています。 | ○ | 夜間に飲めるように、ペットボトルに麦茶を入れて、提供しています。 |
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 日常的に手すり、ベットサークル等の消毒を行い、加湿器の中にはGFW液を混入し、空気感染を予防しています。食事前や外出後には、必ず手洗いうがいを施行し、経口感染を予防し、時期に応じては予防接種をしています。 | | |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 調理器具、ふきん等はその都度、塩素系漂白剤で消毒し、調理の際は手洗いを欠かさず、調理済みの物に直接触れないように、使い捨て手袋をして衛生管理に努めています。食材に対しては、低温の食在庫に管理しています。 | ○ | 出来るだけ、冷凍物ではなく、新鮮な野菜や季節の野菜や山菜なども提供しています。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関周りは、花を植え、ベンチを設けて花を見たり、外気浴に利用したり、コミュニケーションの場として多様に利用しています。 | | |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 強要の空間に入居者と共に作成した季節ごとの作品を飾り切花、鉢物を置き、季節を感じていただけるようにしています。利用者の方が覚えていそうな音楽を流したり、共用部分の湿度設定にも心掛けています。 | | |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 施設内には、何箇所もテーブルや椅子を置き、利用者の方々が好きな場所でくつろげるようにしています。 | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 整理整頓を心がけ、季節ごとにレクリエーションにて作品作りをして楽しんでいただけるよう心掛けています。 | | |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 定期的な換気、新鮮な空気を取り入れ、快適に過ごせるようにして、エアコンは利用者にとって最適な温度設定を心がけています。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 手すりを使用して、活動できる様に見守りをし、安全に残存機能を活かせるように心掛けています。 | | |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 個人の能力の程度を把握し、本人が出来ることを活かし、暮らして行ける様に協力しています。 | | |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 季節の花々を植えて天気の良い日には花見を楽しんでいます。 | | |

| V. サービスの成果に関する項目 | | | |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ①ほぼ全ての利用者の |
| | | | ②利用者の2/3くらいの |
| | | | ③利用者の1/3くらいの |
| | | | ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある |
| | | | ②数日に1回程度ある |
| | | | ③たまにある |
| | | | ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と |
| | | | ②家族の2/3くらいと |
| | | | ③家族の1/3くらいと |
| | | | ④ほとんどできていない |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |
|-----|---|----------------------------------|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ①ほぼ毎日のように |
| | | ②数日に1回程度 |
| | | <input type="radio"/> ③たまに |
| | | ④ほとんどない |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> ①大いに増えている |
| | | ②少しずつ増えている |
| | | ③あまり増えていない |
| | | ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が |
| | | ②職員の2/3くらいが |
| | | ③職員の1/3くらいが |
| | | ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が |
| | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が |
| | | ②家族等の2/3くらいが |
| | | ③家族等の1/3くらいが |
| | | ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・入居者の方の個人の趣味や得意な面を活かしたレクリエーションの提供に努めています。
- ・家庭菜園のいちご、ふき、しいたけ、タラの芽などを一緒に収穫をして、おやつやメニューに取り入れて季節感のある食材を提供しています。
- ・利用者の健康管理につきましては、定期の訪問受診を依頼して利用者の方々に身体的負担を掛けないように、又看護職も配置して利用者の健康状態に気をつけています。